

作成日 2025/08/22

改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ピュアグロス撥水シャンプー (5L)
製品コード	30538
整理番号	30538KB01
供給者の会社名称	株式会社コスモビューティー
住所	大阪府大阪市中央区本町1-1-1
担当部門	研究部
電話番号	06-7639-5361
FAX番号	06-7639-5368
推奨用途	自動車ボディおよび外装の洗浄及びコーティング
使用上の制限	推奨用途以外でのご使用はご遠慮ください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入:気体) 区分に該当しない(分類対象外) 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 生殖毒性・授乳影響 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 重篤な眼の損傷 H401 水生生物に毒性
注意書き	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
安全対策	環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

直ちに医師に連絡すること。(P310)
 特別な処置が必要である。(P321)
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。(P333+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アルキルベタイン	2.5%	C16H33NO 2	(2)- 1291,(2)- 2709	既存	683-10-3
両性界面活性剤	非公開	不明	非公開	既存	非公開
非イオン界面活性剤	非公開	不明	非公開	既存	非公開
陽イオン界面活性剤	非公開	不明	非公開	非公開	非公開
シリコーンオイル	非公開	不明	表示	既存	非公開
シリコーンレジン	非公開	不明	不明	不明	非公開
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	5%未満	C6H14O2	(2)-3079	既存	56539-66-3
乳酸	1.0未満	C3H6O3	(2)-1369	既存	598-82-3
安定化剤	1.0未満	不明	非公開	非公開	非公開
防腐剤	0.1未満	不明	非公開	既存	非公開
水	残部	H2O	不明	不明	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

特別な処置が必要である。

眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

		<p>周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。</p> <p>火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。</p> <p>関係者以外は安全な場所に退去させる。</p> <p>消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。</p>
<p>消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置</p>		
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>		<p>作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。</p> <p>多量の場合、人を安全な場所に退避させる。</p> <p>必要に応じた換気を確保する。</p> <p>漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。</p> <p>少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。</p> <p>多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。</p> <p>付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p> <p>床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。</p> <p>漏出物の上をむやみに歩かない。</p>
<p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>		
<p>二次災害の防止策</p>		
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p>	<p>技術的対策</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p>
	<p>安全取扱注意事項</p>	<p>保護眼鏡、保護面を着用すること。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。</p>
<p>保管</p>	<p>接触回避</p> <p>安全な保管条件</p>	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>換気の良い場所で保管すること。</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p> <p>設備対策</p>		<p>蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p>
<p>保護具</p>	<p>呼吸用保護具</p>	<p>リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。</p>
	<p>手の保護具</p>	<p>リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。</p> <p>状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。</p>
	<p>眼、顔面の保護具</p>	<p>リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。</p>
	<p>皮膚及び身体の保護具</p>	<p>リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。</p> <p>状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡黄色 ~ 黄色半透明
臭い	わずかに特異臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 下限	データなし
可燃限界	
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	データなし
pH	6.6(代表値)
動粘性率	データなし
溶解度	水と任意の割合で混合する。
n-オクタノール/水分配係数	該当しない
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.01(代表値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では安定。
化学的安定性	通常取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避けること。
避けるべき条件	高温(40°C以上)になる場所、直射日光の当たる場所、凍結のおそれのある場所で保管しないこと。
混触危険物質	ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意すること。
危険有害な分解生成物	現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が8087.2349117mg/kgのため区分に該当しないとされた。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が2500mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないとされた。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとされた。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性/皮膚刺激性		10×(区分1+1A+1B+1C)+区分2の成分合計が6.92%のため、区分3とした。

	JIS Z 7252に採用されていないため区分3から区分に該当しないに変更。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感作性	眼区分1の成分合計が4.032%のため、区分1とした。
皮膚感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	区分1の成分が2.52%のため、区分1とした。
生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	(生殖毒性)
	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	(生殖毒性・授乳影響)
	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	※区分2(消化管)は2.52%含まれる。
	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	※区分2(腎臓)は2.52%含まれる。
	※区分2(膀胱)は2.52%含まれる。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率 × 10 × 区分1) + 区分2の成分合計が30.02%のため、区分2とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が6.52%のため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 非該当
 Marine Pollutant Not applicable
 Liquid Substance Not applicable
 Transported in Bulk
 According to MARPOL
 73/78, Annex II, the
 IBC Code

国内規制

航空規制情報 非該当
 陸上規制 消防法の規定に従う。
 海上規制情報 非該当
 海洋汚染物質 非該当
 MARPOL 73/78 附属
 書II 及びIBC コードに
 よるばら積み輸送され
 る液体物質

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報 非該当
 なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)

労働安全衛生法(令和8年
 施行分)

2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセ
 タート
 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1
 項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表
 第2)

労働安全衛生法(令和9年
 施行分)

2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセ
 タート
 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第
 1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条
 の2別表第2)
 2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセ
 タート(安衛則別表第2の番号:1321)(5%未満)(営業
 秘密)
 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(安衛則別
 表第2の番号:2191)(5%未満)(営業秘密)
 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1
 項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表
 第2)
 2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセ
 タート
 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第
 1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条
 の2別表第2)

	2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセタート(安衛則別表第2の番号:1321)(5%未満)(営業秘密)
	3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(安衛則別表第2の番号:2191)(5%未満)(営業秘密)
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) 2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセタート(管理番号:681)(2.5%)
消防法	非危険物
16. その他の情報	
参考文献	原料メーカーSDS 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP) 厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」
その他	記載内容の取扱い 記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。